

～男女共同参画を振り返る～

1994 (平成 6) 男女共同参画年表
高校家庭科男女必修 (赤字は清瀬市)

北口アミュービル 4 階に

市民の方々と共に歩んで
なったのでしょうか。(河原)

ニート



1990 年～2000 年頃
ルーズソックス・腰パンが流行

1995 (平成 7)

阪神淡路大震災発生
第 4 回世界女性会議 (北京)
「育児休業法」改正
アイレック開設

1996 (平成 8)

女性広報「Ms. スクエア」20 号より所管がアイレックに

1997 (平成 9)

「男女雇用機会均等法」改正
(セクシュアルハラスメント禁止他追加)
「介護保険法」公布

1998 (平成 10)

「男女平等に関する市民意識・実態調査」実施

1999 (平成 11)

「男女共同参画基本法」公布、施行
「児童買春・ポルノ処罰法」公布、施行
「清瀬市男女共同参画プラン」策定

第 4 回世界女性会議

1995 年、アジアではじめて開催された女性の人権に関する国連主催の世界女性会議。世界 190 国から政府間会議および NGO フォーラムにあわせて約 5 万人が参加しました。世界中の女性 NGO が GO (政府、自治体) のパートナーシップとして活躍しました。また 1990 年代に開催された国連主催のリオ環境サミット、ウイーン人権会議、カイロ人口開発会議の集大成として『北京行動綱領』が生み出されました。これは女性の人権に関する最も包括的で高い水準の国際文書とされています。

家族の形態の変化

1984 年、女性の平均寿命は 80 歳を超え、世界一の水準になりました。

家族の形態は、少子高齢化が進み、夫婦のみ、夫婦と未婚の子、ひとり親と未婚の子の核家族が増加し、高齢者二人暮らし、一人暮らしが増えました。それまで介護は家庭で妻や娘、嫁が担ってきた。しかし家族形態の変化や長寿化、女性の社会進出などにより、家族だけで介護を担うのは困難と

おひとりさまの老後

上野千鶴子／法研 2007 年



平均寿命がどんどん延びている世の中、長生きしている人はみんなシングルになる時代。読んでいううちに不安がなくなって、楽しい老後が送れそうな気がしてきます。(安井)

男も女も家庭科を学ぶ

1979 年、国連が「女子差別撤廃条約」を採択しました。1985 年に日本でも批准したことから、教育における取り組みとして、1993 年度から中学校で、翌年度から高校で家庭科の男女必修が実施されました。

そして現在、高校で家庭科が男女必修になってから 21 年が過ぎました。調理、裁縫、保育、介護など、より実践的な授業内容で、ひとりの自立できる人間を育成することを目指しています。

(安井)

なりました。そこで社会全体で介護を支えるという理念の下に、2000 年介護保険制度がスタートしました。2014 年には高齢者一人暮らしは 25.3%、二人暮らし 30.7% で高齢者世帯が全体の 56% となりました。65 歳以上の女性の単独世帯では、年間所得が 100 万円未満の世帯が 28% を占め、高齢女性の貧困は深刻な状況です。

(近藤)

* 厚生労働省平成 26 年国民生活基礎調査